

南アフリカ為替週報

2023年4月6日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

＜過去1週間の動き＞

(3月30日～4月5日)

USD/ZAR: 17.6993～18.1512

ZAR/JPY: 7.30～7.52 (参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は対ドルで反発。対円では、4日からのドル安・円高に上値を抑えられた形となったものの底堅い展開となった。欧米の金融機関の経営状況に対する懸念後退や、ISM製造業指数や求人件数など米経済指標の予想下振れを受けた米金利低下・ドル安といった外部環境に加え、南アフリカ準備銀行(SARB)の大幅利上げや、貿易収支改善という国内の要因もランド高に寄与した。SARBは30日に50bpの利上げを実施し、政策金利を7.75%に引き上げた。市場コンセンサスは25bpポイントの利上げだったことから、市場予想を上回る大幅利上げである。経済見通しでは、消費者物価指数の予測が2023年後半を中心に引き上げられ、2023年10-12月のCPI上昇率予測は前年比+4.9%から同+5.5%へと上方修正された。加えて、声明文では市場のインフレ期待が再び高まっていることへの警戒感が示されている。クガニャゴ総裁は記者会見において、インフレを取り巻くリスクは「上振れ方向」だとし、さらなる利上げも辞さない姿勢を示した。31日発表の2月分の貿易収支は市場予想が146億ランドの赤字に対し、実績は161億ランドの黒字と大幅な改善を示した。輸出の回復及び、輸入の低迷が共に影響している。輸出の回復は明るい材料と言える。工業用金属を中心とする南アの輸出動向は、世界の企業活動を映し出す鏡とも言え、中国の需要回復を中心に外需の底堅さを期待させるものと言えよう。一方、輸入の低迷については、2月に電力不足の問題が悪化し、厳しい計画停電によって企業活動が制約を受けたことが影響したと見られる。計画停電による企業活動への制約は3月以降、徐々に緩和に向かいつつある模様だが、南ア経済にとって足かせとなってしまう状況には変わりがないだろう。実際に、5日に発表された総合PMI(3月分)は49.7と2月の50.5を下回った。市場コンセンサスは51.0と若干の改善が見込まれていただけに、南アの景況感の低迷を印象づける内容となった。

＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
3/30	13:00	財政収支(10億ランド)	2月		8.1b	-88.8b
	14:14	金融政策発表		7.5%	7.75%	7.25%
3/31	13:00	貿易収支(10億ランド)	2月	-14.6b	16.1b	-23.1b
4/5	08:15	総合PMI	3月	51	49.7	50.5

(* 予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞

(3月30日～4月5日)

USD/ZAR: 17.40～18.30

ZAR/JPY: 7.20～7.70

向こう1週間の南ア・ランド相場は底堅い展開を予想。米金利が低位安定するなか、SARBの大幅利上げによって、高金利を誘引とする資金流入は続くと思われる。また、同国の慢性的な電力不足の問題は抜本的な解決の見込みが立っていないものの、2月のような極端に需給がひっ迫した状況からは脱しつつある。リスクシナリオとしては、もっぱら外部環境の変化に注意するべきだろう。米景気指標の下振れが続いた場合の市場の受け止め方が、金融引き締め懸念後退(リスク資産押し上げ)、から景気懸念(リスク資産押し下げ)に転換するシナリオや、欧米の金融機関の経営不安に端を発した市場のリスク回避姿勢が再び強まるシナリオに陥った場合、新興国通貨の中でも流動性や金利が高く、市場のリスクセンチメントに敏感なランドはネガティブに反応すると見られる。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標＞

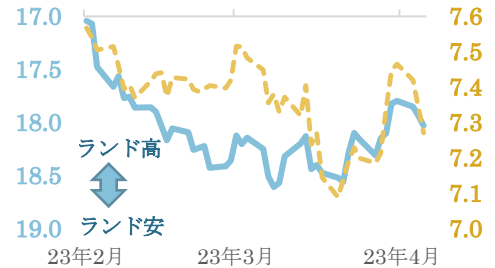
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
4/6	12:00	電力消費(前年比)	2月			-7.3%
	12:00	発電(前年比)	2月			-8.0%
4/11	11:00	製造業生産(前年比)	2月	-3.7%		-3.7%

(* 予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランド相場の推移

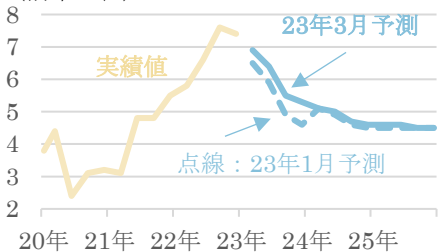
実線: 対ドルレート(左軸/逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



南アフリカ準備銀行 CPI予測値

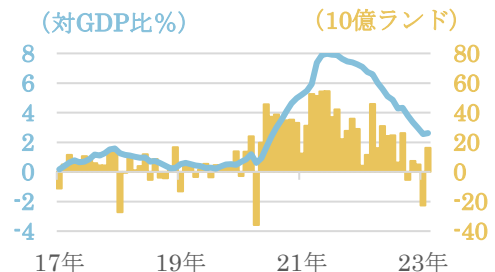
(前年比%)



南アフリカ 貿易収支

12か月累計値対GDP比率(左軸)

金額(右軸)



南アフリカ関係主要経済指標

政策金利(レボ金利)		7.75%
成長率(GDP/前年比)	Q4	+0.9%
経常収支(USD)	Q4	-9.9bn
失業率	Q4	32.7%
消費者物価(前年比)	2月	+7.0%
小売売上高(前年比)	1月	+6.5%
製造業生産(前年比)	2月	-3.7%
鉱物生産量(前年比)	1月	-1.9%
貿易収支(ZAR)	2月	+16.1bn

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。